安心ネットづくり促進協議会について

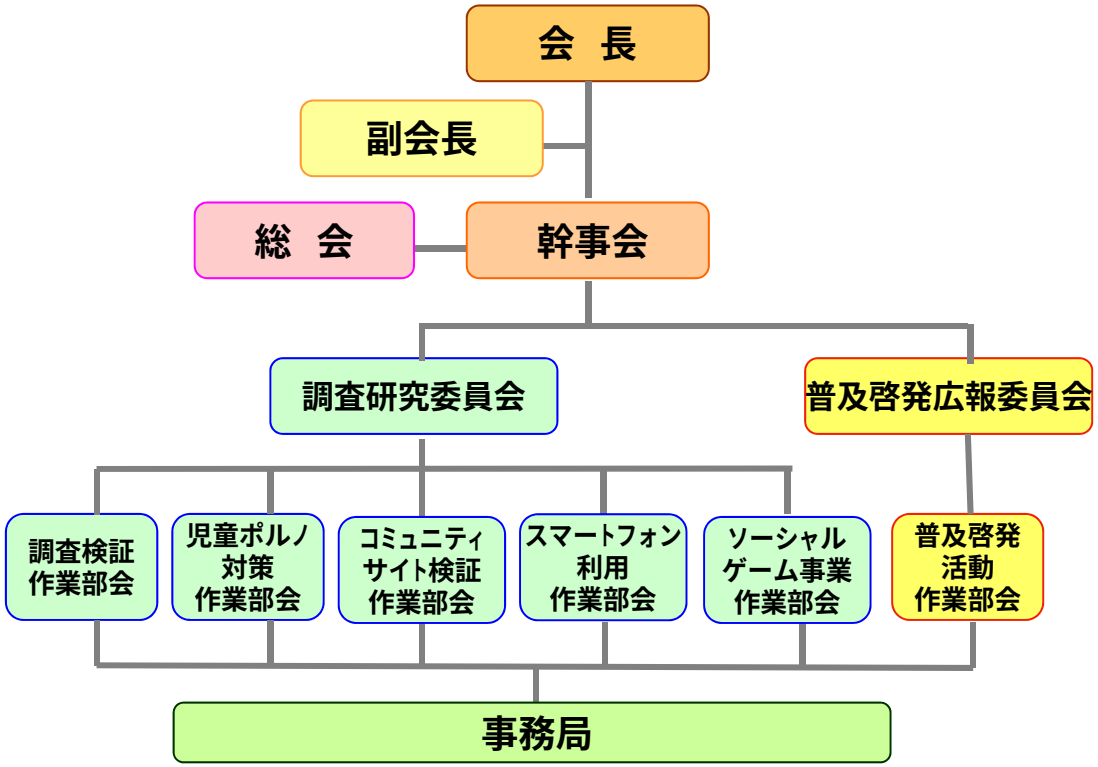
2013年3月18日

安心ネットづくり促進協議会

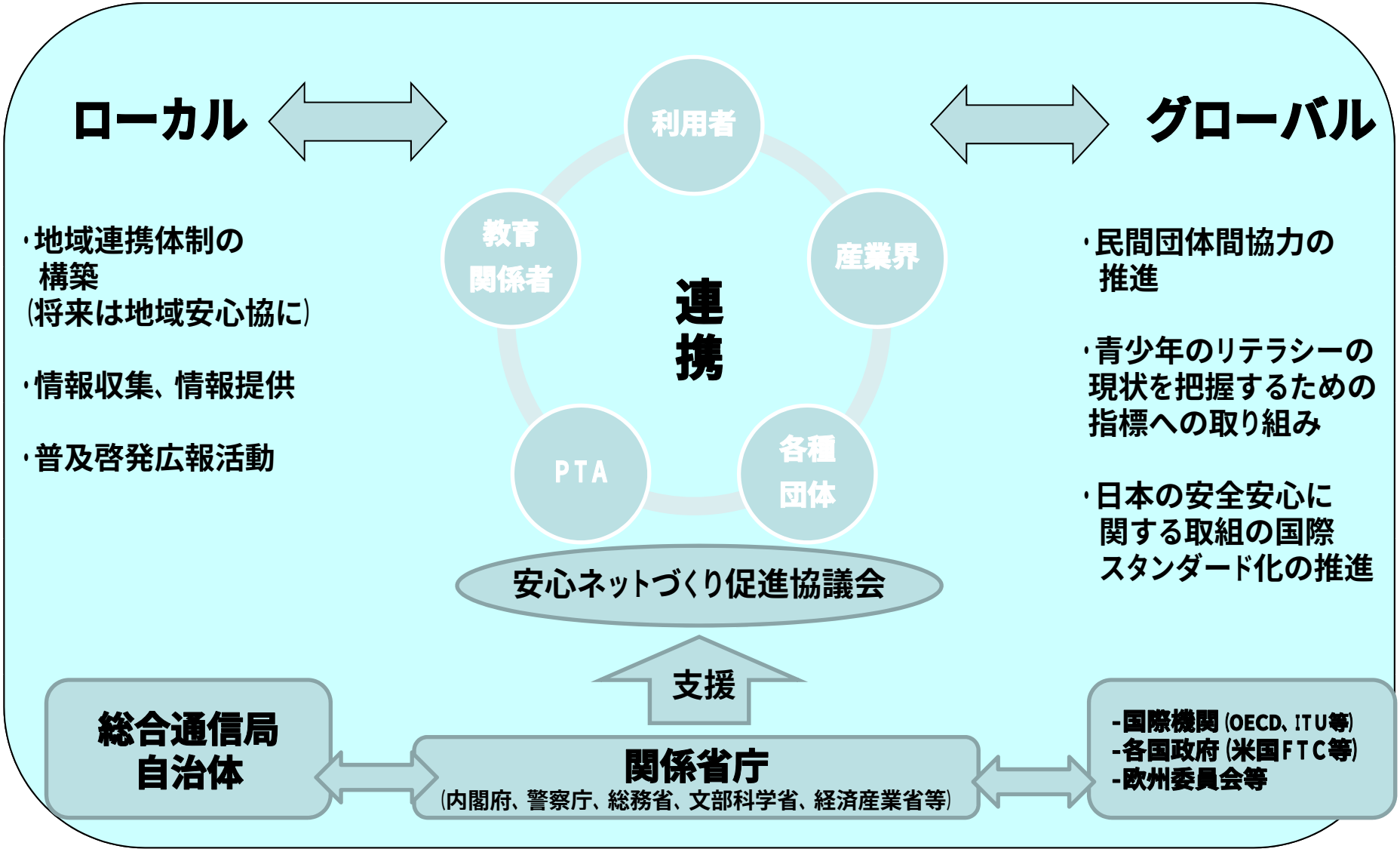
安心協の設立と組織

安心ネットづくり促進協議会は携帯電話及びインターネットの利用環境整備のために、総合的な取組を推進することにより、誰もが安心かつ安全に携帯電話 及びインターネットを利用できる環境の構築を図る民間の取組として、利用者 ・産業界・有識者・教育関係者等が集い2009年2月27日に設立されました。
2013年3月１日現在、会員数：187会員（正会員：65、賛助会員：33、特別会員：89）

【組織図】



安心協の方針

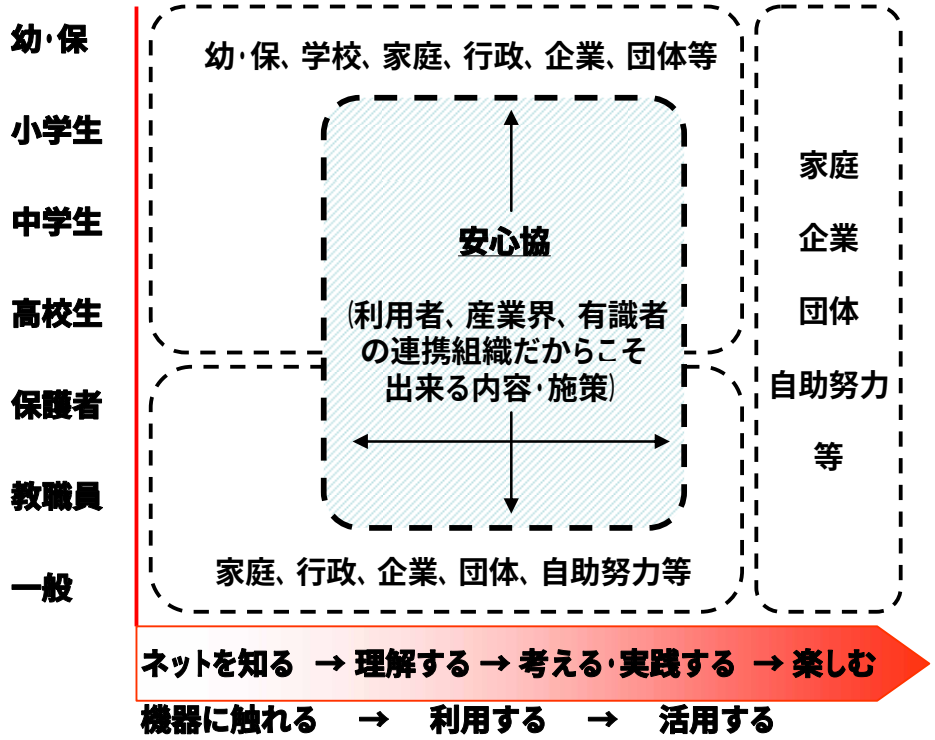


オールジャパンでの取組体制の構築

2012年度普及啓発活動の方向性

2012年度は、利用者、産業界、有識者の連携組織だからこそ出来る内容や施策、及びスマホ時代の青少年の安心･安全利用の実現に焦点を絞った普及･啓発･広報活動を推進。

【フォローする対象と実施主体の構図】



2012年度・支援事業（PTA等の保護者、一般研修会）の成果

支援事業は、PTAを中心に、青少年のスマホ利用、情報モラル、ネットリテラシーなどをテーマに研修を実施した。

○全国高等学校PTA連合会に協力して、「高校生のスマホ利用における課題と対策」研修会を15箇所で開催。アンケートでは、**保護者の学びと家庭での対策の重要性、また青少年が将来使いこなすための準備が大切**であるとの理解を促した。
一方、**「どうしていいかわからない」回答も多く、研修の継続希望が多い。**

○文科省「ケータイモラルキャラバン隊」をはじめ、小中PTAや自治体等の要請による研修会を全国19箇所で開催した。
2009年からの研修会開催協力で培った**小中PTAと安心協との信頼関係において、研修会や懇親会の場への民間各社の同席を認められ、様々な気付きや相互理解につながった。**

青少年の安心ネットづくりの中心である保護者と企業が

「対峙から協働の関係」へ

支援事業（ＰＴＡ等の保護者、一般研修会）

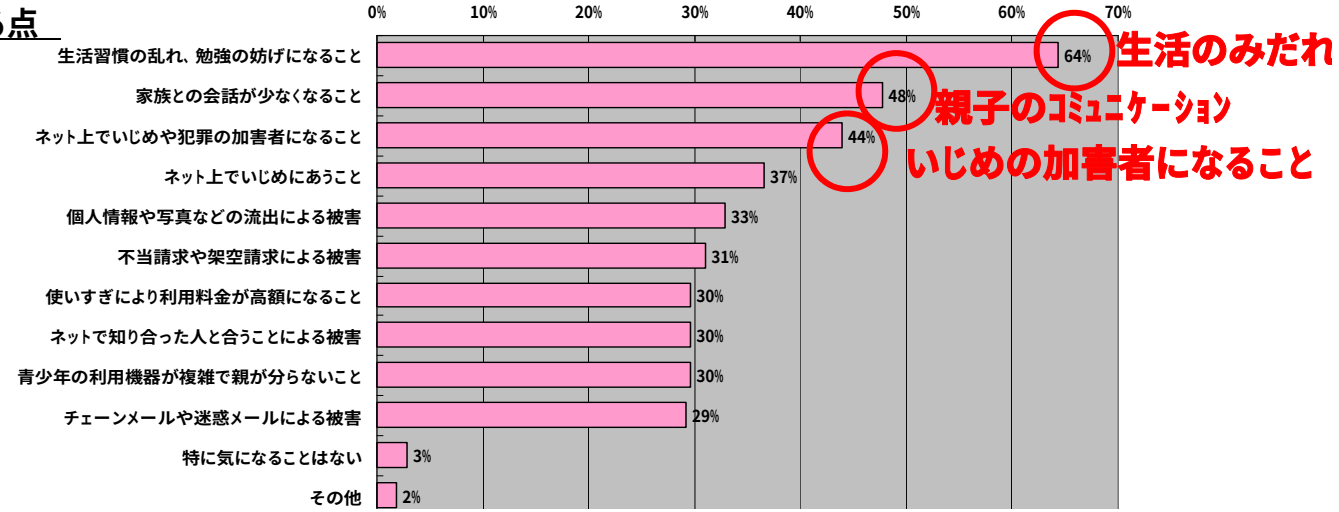
子ども達を見守る立場の大人（保護者（家庭）と企業）が手を携えて、**スマホ時代の子ども達の安心安全で賢いネット利用の実現**を目指し、国民一人ひとりが「グッドネット」を考える　風土づくりに努める。

支援事業（○○県　保護者一般／小中向け研修会）

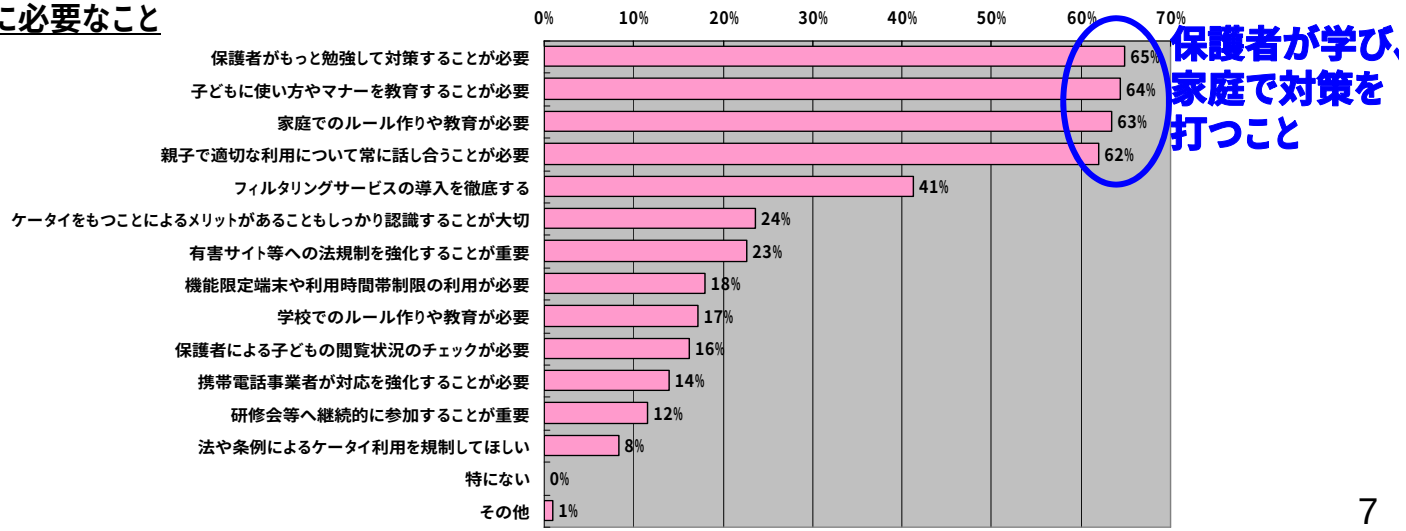
回答数：216名

理解度		有益度	満足度
講演	パネル討議		
100%	95%	100%	97%

○ 青少年のＩＣＴ利用で気になる点



○ 青少年のケータイ利用に必要なこと

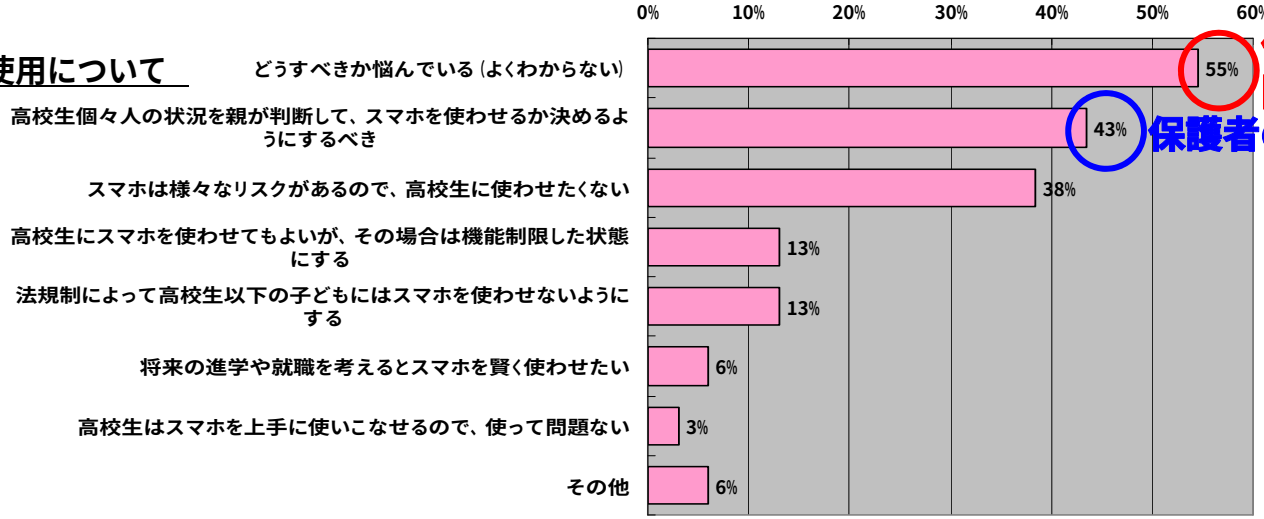


支援事業（△△県　高校PTA研修会）

回答数：101名

理解度	有益度	満足度
88%	94%	90%

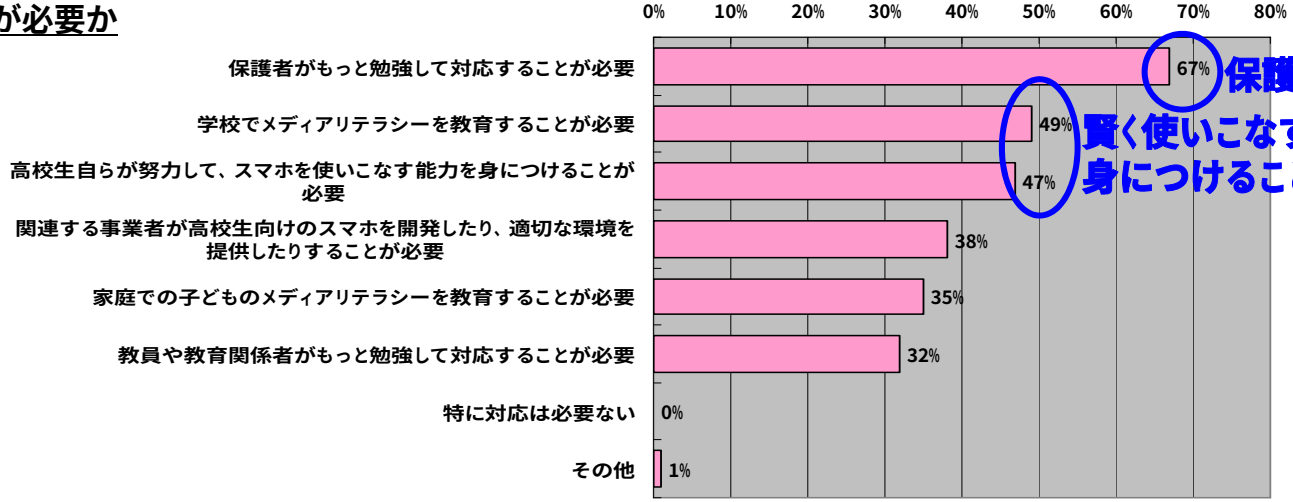
○ 高校生のスマホ使用について



保護者の悩み、問題意識

保護者の判断

○ スマホ活用に何が必要か

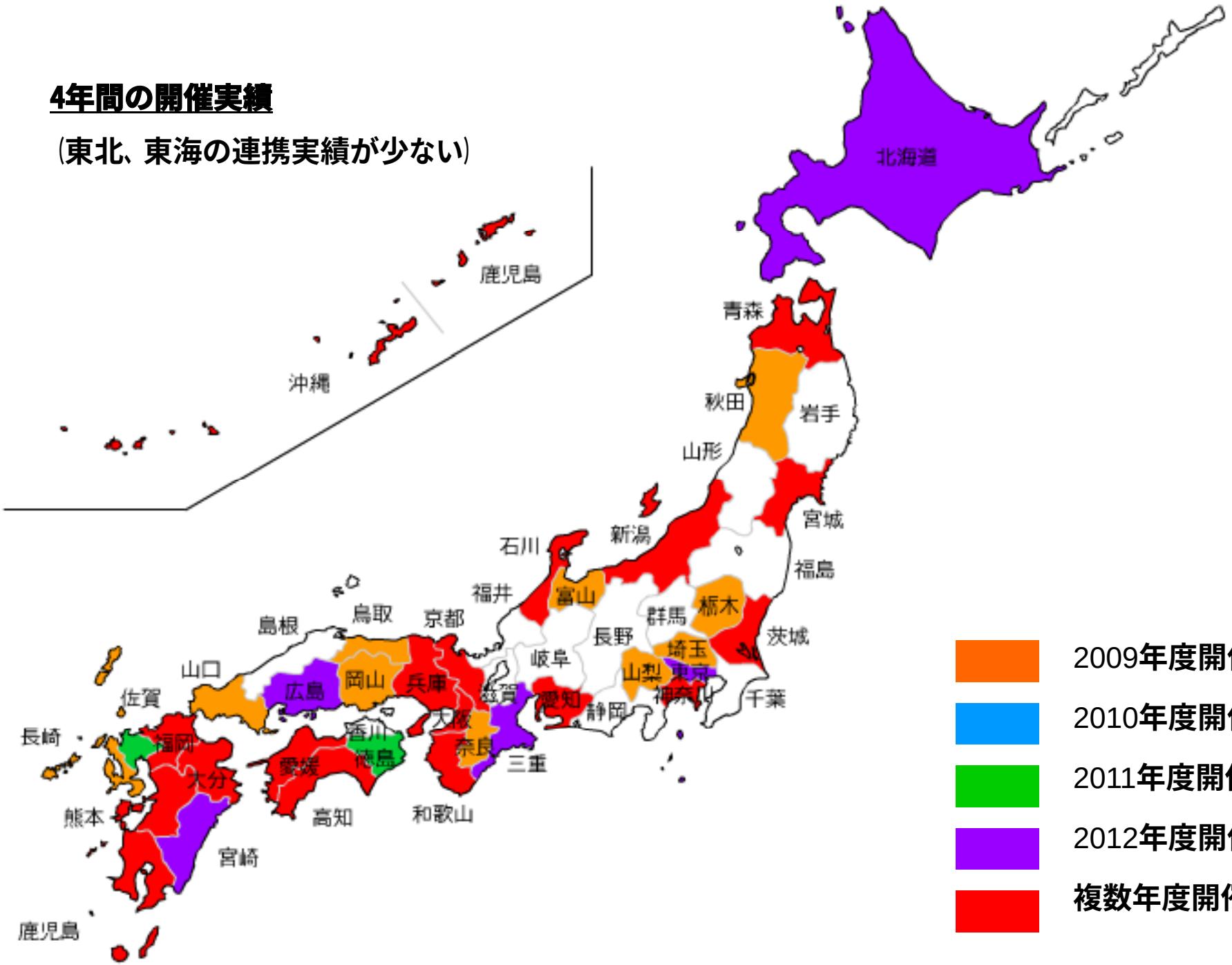


保護者の学び

賢く使いこなす力を身につけること

4年間の開催実績

（東北、東海の連携実績が少ない）



2012年度・自主事業（青少年啓発）の成果

自主事業は、発信力のある高校生の啓発事業を中心に取り組んだ。また、研修会等で配布し啓発するツールとして「スマホ安心安全ガイド（リーフ）」を作成。併せてホームページにスマホ啓発サイトを設けた。

○ＦＭ東京との連携事業**「1万人のグッドネットチャレンジ」は、3年連続で目標を達成。**青少年のネットルールなどの気づきにつながった。

○仙台市ＰＴＡフェスタでは、ソーシャルゲーム2社の出展が認められるとともに、**主要5都市の小中ＰＴＡと出展企業の接点を作ることができ、参加各社の啓発活動の認知につなげることが出来た。**

○高校生熟議は、昨年度の大阪開催を経験に、東京＆大阪の2箇所で開催。さらに企業や国の協力が広がりつつある（更に教育委員会等の協力が必要）。**急激なスマホへのシフトは、大人だけでなく高校生にとっても、とまどう面が見受けられ、継続した取り組みが求められる。**

○普及事業では、協議会と3つの目標を記載した「保護者のためのスマートフォン安心・安全ガイド」を発行。そのバックアップとして、ホームページにスマホ啓発サイトをアップした。

○協議会の協力により、**全国11箇所の総務省・総合通信局等ごとに1箇所の地域体制構築が図られ、**関係団体が行う定例の研修会等において本取組を説明する等、草の根的な活動がスタートした。

自主事業（青少年啓発事業）

産学連携組織ならではの、さまざまな啓発施策や体験学習に取組み、**青少年の情報モラル意識とネット・リテラシー向上を目指す。**それらの成功事例は全国に波及させていく。

2013年度事業の方向性

○スマホ時代における青少年の安心･安全なインターネット社会の実現に向けて、**会員企業が積極的に関わり、各地域における有機的な普及啓発活動を支援して、「地域が活動主体」となる環境**を整える。

○地域をはじめとする多様な関係者から「期待される安心協」がその役割を果たすために、**産学官が連携して最新の情報や対策を発信出来る戦略的組織化**を目指す。

○普及啓発事業及び広報施策と連携して、協議会のプレゼンス向上を図り、「自ら学ぼうという雰囲気づくり」「安心協の見える化･みんなの安心協化」をテーマに、**協議会が発する「スマホを学ぼう」というメッセージの浸透**を図る。

○**フォーカスを絞りながら様々な啓発施策に積極的に取り組み、レビューを行い、成功事例を全国に波及**させていく。